

2026年7月7日

各位

明治ホールディングス株式会社

第17回定時株主総会における質疑応答要旨

2026年6月26日に開催された第17回定時株主総会における質疑応答の要旨について、下記のとおりお知らせいたします。

本要旨は、第17回定時株主総会における主な質疑応答の概要を、株主の皆さまに分かりやすくお伝えするために取りまとめたものです。質疑応答の内容は要約であり、発言の逐語録ではございません。

記

No.	ご質問の概要	回答の概要
1	動物薬事業の今後について	<ul style="list-style-type: none">動物薬事業では、グループ会社を通じて売上および利益の拡大に取り組んでいます。乳房炎治療薬をはじめとする抗菌薬については、今後も製品価値の向上とシェア拡大に努めます。AMR（薬剤耐性）への対応については、共同開発を含めた取り組みを進めるとともに、ワンヘルスの考え方にに基づき、抗菌薬とワクチンの両面から畜産分野における感染症対策に貢献してまいります。
2	乳牛のアニマルウェルフェア対応について	<ul style="list-style-type: none">動物の健康および快適性への配慮は、重要な社会的責任であると認識しています。当社グループでは、アニマルウェルフェアポリシーを定めており、2024年に改訂版を公表しています。乳牛についても、酪農業界および乳業メーカーが一体となって、アニマルウェルフェアの取り組みを進めてまいります。
3	海外で勤務する駐在員の安全確保およびコンプライアンス遵守について	<ul style="list-style-type: none">世界各国で勤務する駐在員について、安全面や住環境に配慮しています。政治、行政上の事情等により慎重な対応が必要な国もありますが、駐在員がコンプライアンスを遵守して業務にあたるよう指導するなど、引き続き注意を払ってまいります。

No.	ご質問の概要	回答の概要
4	ダイエット関連の医薬品について	<ul style="list-style-type: none"> ・ GLP-1 関連薬は市場性が大きいものと認識しています。 ・ 一方で、GLP-1 関連の新薬開発に参入する予定はありません。 ・ 将来、特許満了後は、ジェネリック医薬品化の可能性もあると考えています。
5	ザバスのダイエット効果について	<ul style="list-style-type: none"> ・ ザバスは、カラダづくりをサポートする食品です。 ・ 摂取すれば必ず減量につながるといった効果効能を保証するものではありません。 ・ 目的や用途に応じたシリーズを展開していますので、お客様のライフスタイルに合わせてお試しくださいと考えています。
6	コスト上昇に伴う価格改定・容量変更について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 価格改定および容量変更は、原材料・エネルギー・物流等のコスト上昇への対応として実施しているものです。 ・ 販売数量への影響を抑えるため、各種施策にも取り組んでいます。 ・ 例えば、粉ミルクでは、リニューアルにより新たな付加価値を加え、お客様のニーズにお応えしています。 ・ 今後も自社努力による吸収に努めつつ、必要に応じて価格改定や容量変更について判断してまいります。
7	第3号議案を会社提案した経緯について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3号議案は、剰余金の配当等について、取締役会で決定できる仕組みを維持しつつ、株主総会においても決定できる内容とするものです。 ・ 株主の皆さまとの対話や、取締役会における課題認識を踏まえ、提案したものです。
8	株価改善・企業価値向上に向けた今後の方針について	<ul style="list-style-type: none"> ・ ROEについては、今期は8%、さらに10%水準へ高めていくことを目指し、各種施策を進めてまいります。 ・ 明治グループの将来ビジョンや新たな価値提案を明確に示し、市場および社会からの支持を得ることで、企業価値の向上につなげてまいります。
9	株主向けの工場見学について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 株主さま向けの工場見学については、年間2回、実施しています。 ・ 多くのお申し込みをいただいております。抽選倍率が高い状況です。 ・ 今後は、実施回数の増加やその他イベントの実施も含め、株主の皆さまとのコミュニケーション強化を検討してまいります。

No.	ご質問の概要	回答の概要
10	チョコレート事業におけるサステナビリティ活動について	<ul style="list-style-type: none"> ・「明治カカオサポート」を軸に、カカオ産地支援と原料の安定調達を両立し、カカオの価値を高める取り組みを進めています。 ・カカオハスクから美容成分を抽出し、商品化した事例もあります。 ・原料の安定調達、中長期的な競争力の確保、環境負荷低減と収益性向上の両立に資するものとして、継続して取り組んでまいります。
11	公正取引委員会による立入検査について	<ul style="list-style-type: none"> ・公正取引委員会による立入検査を受けたことを真摯に受け止め、同委員会の調査に全面的に協力してまいります。 ・また、調査結果を待たずに社内調査チームを立ち上げ、アイスクリームだけでなく他カテゴリーも含めて実態把握を進めていきます。 ・必要がある場合には、改善に向けた対応を行ってまいります。
12	アニマルウェルフェアに関する取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> ・アニマルウェルフェアは重要な社会課題であると認識しています。 ・仮に畜産動物に対する虐待が確認された場合には、企業としても是正に向けた取り組みに関与していく姿勢が必要であると考えています。 ・乳牛への対応については、酪農家の軒数が多く、当社単独ですべてを対応することは容易ではないため、乳業メーカー団体等とも連携しながら取り組んでまいります。 ・また、農場視察や工場見学等を通じて気づいた点を取締役会でも共有・協議し、取り組みの向上に努めています。
13	中東情勢等が新工場建設計画に及ぼす影響について	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道および神奈川の新工場はいずれも計画どおり進捗しています。 ・北海道新工場は、乳製品の安定供給および需給調整機能の強化を目的としており、総投資額は約480億円、2027年3月稼働開始予定です。 ・神奈川新工場は、デイリー事業の生産体制再編を目的としており、総投資額は約400億円、2027年3月稼働開始予定です。
14	「食と医」の新事業構想について	<ul style="list-style-type: none"> ・「食と医」の融合は、明治グループ統合以来の重要なテーマです。 ・社会課題の解決と新たな価値の創出を目指し、検討を進めています。 ・外部パートナーの視点やスピード感も取り入れながら、決定および実行は明治グループが主体となって進めてまいります。

No.	ご質問の概要	回答の概要
15	株式分割について	<ul style="list-style-type: none"> ・企業価値向上を続ける中で、株式分割についても選択肢の一つと認識しています。 ・企業価値向上に向け、当社グループは事業とサステナビリティの融合を目指しており、ROE 向上と ESG に関する取り組みを両立させることで企業価値を高めてまいります。
16	広告タレント起用について	<ul style="list-style-type: none"> ・広告および Web CM におけるタレント起用は、ブランド戦略の一部として位置づけています。 ・ブランドおよび企業イメージとの合致、認知度、将来性、費用対効果等を踏まえ、慎重に検討してまいります。
17	海外（グローバルサウス）への展開・ハラル対応について	<ul style="list-style-type: none"> ・明治グループの長期的な成長は、海外市場にあると認識しています。 ・既存事業では、米国および東南アジアを重点地域とし、菓子・栄養領域に注力してまいります。 ・新規事業では、M&A やアライアンスも活用し、栄養・機能性分野を中心に探索を進めます。 ・グローバルサウスやアフリカについては、既存事業の重点地域ではありませんが、今後の新市場の対象として検討してまいります。 ・ハラル対応については、シンガポール等で生産するチョコレートや粉ミルク等に対応製品があり、今後も商品開発を進めてまいります。

以上